



砕砂プラント再稼働



休止していた砕砂プラントの稼働へ向けて準備を進めています。老朽化していたシツクナー（濁水急速沈殿反応槽）と汚泥貯留槽等の修理もほぼ終わり、除雪や凍結箇所を解除して三月初旬の生産再開を目指して頑張っています。今年も質・量共に満足して頂ける製品作りに努めます。

教訓

『〇〇していれば、△△だったのに』よくある後悔の弁である。二週連続の日曜の大雪。周りの雪も何とか片付き、ホツツとしていた三週目の月曜日の朝、事務所に入ってビックリ！休憩室の窓ガラスが無残にも屋根からの落雪で割れていた。週末までにガスボンベが埋るほどの落雪で積雪1m位になっていたところに一気に落ちたらしい。片付けなければならないなあとうすうす思っていたのだが、後の祭りである。なんとなくわかっているのだが、諸般の事情と理由をつけて後回しにする。その結果望まざる事態となることは事の大小にかかわらず、ままする話である。あらかじめ因果関係が想定される事柄について手を打っておくことが失敗しない秘訣と知った。



お知らせとお願い

1. 産業廃棄物の適正な処理について

廃棄物は排出者から処分業者に至る過程が明確になるよう契約の締結、マニフェスト伝票の使用処理が法律により義務でけられており、違反すると罰則が適用されます。書類手続き上不備な場合や廃棄物の選別が不備な場合にはお引き受け出来ない場合があります。皆様のご理解と御協力をお願いいたします。

2. 適切な価格へのご理解について

運賃コストの上昇に伴い、特に遠距離搬入の現場持込単価について見直さざるを得ない状況となっております。ご理解をお願いいたします。

3. 消費税率変更について

御承知の通り4月から消費税率が5%から8%となります。当社は従来通り外税方式の表示とさせていただきます。



～カーリングストーン～

ソチオリンピックが閉幕した。二戸人ならなんといってもカーリングである。苦米地美智子選手である。取ずかしながらカーリングの事はストーンをサークルの真中に入れればいいという事はわかっている、そこにどんな技術と戦略があるのかわかっていない。当然ゲームの本当の面白さを理解できていない。

カーリングで使う道具はストーンとブラシだけである。ストーンはスコットランド アルサクレイグ島産の花崗岩で原石の採掘は、20年に一度行われるということ。まるで式年遷宮である。そんな有難い原石から直径30cm高さ11.5cm重さ17.2kg～19.9kgのストーンが作られる。お値段は1個10万円也。試合では16個使うので160万円となる。重量300kgで160万円だったら1t530万円ではないかと、砕石と比べてついでさむしいことを考えてしまう。無理やり石の事にこじつけながら苦米地選手の試合を見ているとカーリングも苦米地選手もなぜか身近に感じられるのである。



山田町を訪ねて

岩手県産業廃棄物協会青年部の企画で被災地支援ツアーに参加してきました。趣旨は山田町の現状とその後の山田町の魅力を発信したいということでした。被災状況を見て、同じ山田町内なのにまるで被災がない所と海岸付近の建物が無くなっている違いや、当たり前自分の家、またその一方は仮設住宅だったりとその風景に胸が締め付けられた。山田町の駅に飾られていたという時計が、津波によって壊された時刻を示した姿、語り部さんによる津波のあとの大火事の悲惨な写真やお話、燃えていく自分の街や家をどうすることも出来ず、ただ避難しなくてはならないその時の気持ちを私には想像すらつきませんでした。いえ、想像してはいけないように思えた。



でも、今や山田町と言えば『かき小屋』とパツと頭をよぎるほどに漁業は復興しています。生きて地元に残って一生懸命に町をアピールし復興につないでいこうという頑張りの成果だと思ひ感動した。かき小屋のおばさんは元気で明るく迎えてくれ、楽しいおしゃべりと美味しいかきの食べ方や見分け方を教えてくれました。このかきの美味しさを食べた人がまた人に伝え、山田町に足を向けてくれる人がいたら、これもまた復興につながるのではないかと思える。完全予約制につき、山田町役場に問い合わせると予約できるよう。地元のみなさんこからも頑張ってください。



津波が襲った時刻で停まっている